

# 宮城県感染症発生動向調査情報(第3週)

宮城県【平成27年01月22日】発行  
宮城県保健環境センター  
TEL (022)257-7228

— 2015.1.12 ~ 1.18 ・ 第3週 —

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾病	保 健 所								宮 城 県 (含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	累計	第52週	第1週	第2週	第3週	
水痘	3 0.60	7 0.70	2 0.40		3 1.00	4 0.80	1 0.50	13 0.50	33	130	◎ →	○ →	○ →	○
流行性耳下腺炎					2 0.67			2 0.03	21		→	→	→	
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	52 10.40	118 11.80	64 12.80	19 9.50	33 11.00	29 5.80	15 7.50	252 9.69	582	1,335	◎ →	◎ →	◎ →	◎
手足口病	1 0.20	6 0.60	1 0.20	1 0.50				2 0.08	11	30	→	→	→	
伝染性紅斑	14 2.80	7 0.70	2 0.40			8 1.60	3 1.50	45 1.73	79	195	◎ →	○ →	○ →	◎
突発性発しん	2 0.40	2 0.20	2 0.40	1 0.50	2 0.67	2 0.40	2 0.38	10 0.36	21	66	○ →	レ →	○ →	レ
ヘルパンギーナ						1 0.20		1 0.02	2		→	→	→	
インフルエンザ	344 43.00	291 19.40	297 37.13	121 40.33	228 45.60	517 64.63	60 15.00	906 21.57	2764	6,664	◎ →	◎ →	◎ →	◎
咽頭結膜熱		3 0.30		1 0.50		1 0.20		3 0.12	8	26	レ →	→	→	
流行性角結膜炎		1 0.33						1 0.08	2		→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4 0.80	15 1.50	7 1.40	2 1.00	1 0.33	16 3.20	1 0.50	51 1.96	97	214	◎ →	レ →	○ →	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→	
無菌性髄膜炎	2 2.00							2 0.17	2		→	→	→	
マイコプラズマ肺炎			3 3.00	2 2.00			1 1.00	2 0.40	8	22	→	→	→	
クラミア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症	1 0.20	5 0.50	5 1.00	2 1.00	2 0.67	1 0.20	2 1.00	21 0.81	39	156	◎ →	○ →	○ →	○
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	1	1	3			1	1	1	◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○: 発生または流行について、今後の情報に留意 レ: 発生が少なくなっている傾向				
	川崎病			1						【週報の詳報】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 <a href="http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/">http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/</a>				
	不明発疹症							1						
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)※							1	58					

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

## 今週の全数報告疾病

- 1類感染症: 報告なし ※男児、女児は6歳未満  
2類感染症: 結核
- 仙南管内 男性1名  
塩釜管内 男性1名(第2週)、男性1名、女性1名  
大崎管内 女性1名(2014年第50週)  
石巻管内 女性1名  
栗原管内 男性1名(第2週)  
仙台管内 男性1名、女性1名
- 3類感染症: 報告なし  
4類感染症: 報告なし  
5類感染症: アメーバ赤痢
- 仙台管内 男性1名  
カルバペネム耐性腸内細菌感染症  
塩釜管内 男性1名  
侵袭性肺炎球菌感染症  
塩釜管内 女性1名

## 今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 32例

### 今週の感染症のコメント

#### — 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

- [伝染性紅斑]  
仙南、石巻管内で警報継続中。
- [インフルエンザ]  
仙南、大崎、石巻、仙台管内で警報継続中。  
栗原、登米管内で警報値を超えた。  
塩釜、気仙沼管内で注意警報継続中。

### 【病原体検出情報】

#### ～仙台医療センターウイルスセンター～

	第1週採取分 (12.29～1.4)	第2週採取分 (1.5～1.11)	第3週採取分 (1.12～1.18)
RSウイルス	0件	1件	4件

### [インフルエンザ]

県全体の患者報告数は横ばいですが、仙南、大崎、仙台、石巻管内に加え栗原、登米管内でも警報値を超えました。今後も流行の拡大が懸念されることから、うがい、手洗い、マスクなどで予防に努めるとともに、インフルエンザの発生動向に十分注意してください。インフルエンザの予防・対策等は下記HPを参照、活用ください。

・厚生労働省 インフルエンザQ&A  
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/qa.html>

・国立感染症研究所ホームページ  
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/diseases/a/flu.html>

## インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢別割合)

報告週	年齢群 (%)	0～4歳 (%)	5～9歳 (%)	10～14歳 (%)	15～19歳 (%)	20～29歳 (%)	30～39歳 (%)	40～49歳 (%)	50～59歳 (%)	60～69歳 (%)	70～79歳 (%)	80歳～ (%)	総数 (人)
2014年 第51週		9.1	36.9	32.1	5.0	3.3	4.8	4.1	1.9	1.5	0.9	0.3	1549
第52週		14.3	30.7	25.6	5.2	5.1	6.5	5.1	3.6	1.8	1.3	0.8	2382
2015年 第1週		19.6	18.9	12.5	6.1	11.6	11.4	7.2	5.7	3.2	1.6	2.3	1140
第2週		23.6	18.8	10.7	4.4	9.1	9.1	9.4	7.0	3.8	2.2	1.9	2760
第3週		22.1	30.2	16.6	3.6	5.2	7.6	4.8	3.5	3.0	1.6	1.8	2764

## インフルエンザ定点

インフルエンザ定点  
インフルエンザ定点  
と、小児科定点と内  
科定点を合わせたもの  
で、県全体で93定点  
(県:51、仙台市:42)と  
なっています。

## 定点把握の対象となる5類感染症(全国 第52週) (国立感染症研究所感染症疫学センターホームページより抜粋)

**インフルエンザ:** 定点当たり報告数は第43週以降増加が続いており、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別では埼玉県(48.13)、神奈川県(35.86)、福岡県(35.79)が多い。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は710例と前週と比較して増加した。都道府県別では46都道府県から報告があり、年齢別では0歳(50例)、1～9歳(173例)、10代(49例)、20代(14例)、30代(9例)、40代(14例)、50代(28例)、60代(45例)、70代(101例)、80歳以上(227例)であった。**RSウイルス感染症:** 報告数は6,110例と2週連続で減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約71%を占めている。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎:** 定点当たり報告数は2週連続で減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では鳥取県(5.53)、石川県(4.69)、山形県(4.23)が多い。**感染性胃腸炎:** 定点当たり報告数は減少した。都道府県別では宮城県(21.31)、福井県(21.00)、熊本県(20.44)が多い。**マイコプラズマ肺炎:** 定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は富山県(1.40)、石川県(1.20)、香川県(1.20)、群馬県(1.13)である。**感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る):** 定点当たり報告数は減少した。14都道府県から28例報告があり、年齢別では0歳(5例)、1～4歳(16例)、5～9歳(2例)、10～14歳(1例)、15～19歳(1例)、20～29歳(1例)であった。

※ 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)の集計結果です。( )内数字: 定点当たり報告数